

授業科目名 <英訳>	西洋史学(講読) European History (Seminars)			担当者氏名	人文科学研究所 准教授 伊藤 順二				
配当学年	2回生以上	単位数	2	開講期	後期	曜時限	火3	授業形態	講読
題目	露書講読 2								
【授業の概要・目的】									
ロシア革命直後の時期をあつかう資料集を講読し、ロシア語の一般的読解力を向上させるとともに、公文書・公的書簡・私的書簡・回想録などのさまざまな文体にも習熟させる。									
【授業計画と内容】									
以下の史料集をテキストとする予定である。日本と関係の深い北サハリン関係の史料を読解することで、ロシア語の文章を身近に感じられるようにしたい。									
1925 (.): (1917-1925年): 資料集』)									
ただし、受講者の希望によってテキストを変更する可能性もある。受講人数にもよるが、毎回1頁程度、一人あたり数行～十数行ずつの割当てで進行する。									
【履修要件】									
特になし									
【成績評価の方法・基準】									
期末テストはおこなわない。出席と予習の精度による。									
【教科書】									
プリントを配布する。									
【参考書等】									
(参考書) 露和辞典は研究社出版のものを所持していることが望ましい。									
(その他(授業外学習の指示・オフィスアワー等))									
オフィスアワーは、火曜4限とする。									
オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。									